

## はじめに

このたびは、BladeSymphony BS2500装置をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本書では、Webコンソールへの接続方法、マニュアルおよび添付品について説明しています。  
本書の記載内容は主にマネジメントモジュールに格納されている「製品マニュアル」より抜粋して  
おります。製品マニュアルと合わせてお読みください。

## 登録商標・商標

Adobe、およびFlashは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の  
国における商標または登録商標です。  
FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。  
Intel、インテル、Xeonは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationの  
商標です。  
Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
Microsoft、Windows、Windows Server、Internet ExplorerおよびHyper-Vは、米国Microsoft  
Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。  
OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国にお  
ける登録商標です。  
Red Hatは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標または商標です。  
その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

## 版權

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。  
このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。  
All Rights Reserved. Copyright © 2014, Hitachi, Ltd.

## 使用許諾契約書について

製品添付媒体には使用許諾契約書への同意が必要なソフトウェアが含まれています。使用  
許諾契約書を必ずお読みのうえ、ご使用条件をご理解ください。インストールをもって、  
使用許諾契約書にご承諾いただき、ソフトウェアの使用許諾契約が成立したものとさせていただきます。  
ご承諾いただけないソフトウェアはインストールしないでください。

## システム装置の概要

サーバシャーシにサーバブレードや各種モジュールを搭載することで、ハードウェアを自由に  
追加でき、その構成変更や運用管理をミドルウェアで一元的に行える装置になります。

## 参考

システム装置は、次の要素で構成しています。

- **サーバシャーシ**  
サーバブレードやマネジメントモジュール、各種モジュールをシステム装置として構成  
するための筐体です。
- **サーバブレード**  
サーバブレードは、プロセッサ、メモリ、HDDなどをシステム搭載するためのモジュール  
です。
- **マネジメントモジュール**  
マネジメントモジュールは、サーバブレードなどの電源制御、状態監視などの機能を  
提供するモジュールです。外部のネットワークには、マネジメントLAN モジュールを  
経由して接続します。
- **各種モジュール**  
スイッチモジュール、I/Oボードモジュール、電源モジュールがあります。

## 安全にお使いいただくために

## 安全に関する共通的な注意について

- 次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
- 操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
  - 本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
  - 本製品に搭載または接続するオプションなど、ほかの製品に添付されているマニュアル  
も参照し、記載されている注意事項を必ず守ってください。
- これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

## 操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。  
本製品について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、  
お買い求め先にご連絡いただくか保守員をお呼びください。

## 自分自身でもご注意を

- 本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。  
それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に  
従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。
- マネジメントモジュールに格納されている「スタートアップガイド」内の「安全にお使いいた  
だくために」を必ずお読みください。

## 一般的な安全上の注意事項

## ⚠️⚠️⚠️ 電源ケーブルの扱い

電源ケーブルは必ず付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。  
取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出し、ショートや一部断線で過熱して、  
感電や火災の原因になります。

- 物を載せない
- 熱器具のそばで使用しない
- 加熱しない
- 束ねない
- コードに傷がついた状態で使用しない
- 紫外線や強い可視光線を連続して当てない
- 高温環境で使用しない
- 定格以上で使用しない
- ほかの装置で使用しない
- 電源プラグを濡れた手で触らない  
なお、電源プラグはすぐに抜けるよう、  
コンセントの周りには物を置かないでください。

## ⚠️⚠️⚠️ 電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の  
原因となります。

- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
- 電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。  
付着している場合は乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。

## ⚠️⚠️⚠️ 電源コンセントの扱い

- 電源コンセントは接地型2極差し込みコンセントをご使用ください。その他のコンセントを  
使用すると感電や火災の原因になります。
- コンセントの接地極は、感電防止のために、アース線を専門の電気技術者が施工した  
アース端子に接続してください。接続しないと、万一電源の故障時などに感電するおそれ  
があります。

## ⚠️⚠️⚠️ 電源プラグの抜き差し

電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行って  
ください。電源コードを引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因に  
なります。

## ⚠️⚠️⚠️ 電源モジュールについて

電源モジュールは、高電圧部分が内部にあるためカバーを開けないでください。感電や装置の  
故障の原因になります。

## ⚠️⚠️⚠️ 電源スロットカバーの取り付け

電源モジュールの取り外し時、手や工具を内部に差し入れないでください。また、取り外し後は  
電源スロットカバーを取り付けてください。電源スロット内部には導体が露出した部分があり、  
万一手や工具などで触れると感電や装置の故障の原因になります。

## ⚠️⚠️⚠️ 異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源を切り、装置のすべて(最大6本)の電源プラグを  
コンセントから抜いてください。

## ⚠️⚠️⚠️ 修理・改造・分解

本書の指示にしたがって行うオプションなどの増設作業を除いては、自分で修理や改造・  
分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。  
特に電源モジュール内部は高電圧部が数多くあり、万一さわると危険です。

## ⚠️⚠️⚠️ カバー・ブラケットの取り外し

カバー・ブラケットの取り外しは行わないでください。感電ややけど、または装置の故障の  
原因となります。

## ⚠️⚠️⚠️ 電源モジュールのカバーの高温について

電源モジュールは動作時カバーやハンドルが熱くなっています。障害が発生したモジュールを  
交換する場合などはご注意ください。やけどをするおそれがあります。

## ⚠️⚠️⚠️ 装置内部品の追加・交換

電源を切った直後は、カバーや内部の部品が熱くなっています。本マニュアルで指示のない限  
り装置内部品の追加・交換は、電源を切った直後約5分、時間をおいてから行ってください。  
やけどの原因になります。

## ⚠️ ⚠️ ⚠️ レーザー光について

- 本製品に搭載されているレーザーは、クラス1 レーザー製品です。レーザー光を直視しないようにしてください。光学器械を用いてレーザー光を見ないようにしてください。
- レーザーモジュールのカバーを外すと、レーザー光が発射されています。使用していないモジュールのカバーは外さないようにしてください。

## ⚠️ 製品の取り扱い

- 製品は固定したラックに搭載してください。製品に寄りかかったり、上に乗ったりしないでください。また、床や壁などが弱い場所には設置しないでください。
- 過度な振動は与えないでください。落ちたり倒れたり、故障の原因となります。

## ⚠️ ⚠️ ラック搭載について

- システム装置をラックキャビネットに取り付けたり取り外したりする場合は、必ず2人以上で作業を行い、無理をせず器具などを使用してください。また、ラックキャビネットの31U以上にシステム装置を取り付けたり取り付けられている場合は、作業は行わず、保守員にお任せください。取り付け不備によりシステム装置が落下し怪我をしたり装置が故障するおそれがあります。
- ラックキャビネットから装置を引き出して作業を行う場合、必ずラックキャビネットにスタビライザーを取り付けてください。無理な力がかかるとラックキャビネットが転倒し、怪我や故障の原因となります。取り付けられていない場合は保守員をお呼びください。

## ⚠️ ⚠️ ラックキャビネット搭載時の取り扱い

ラックキャビネット搭載時、装置上面の空きエリアを棚または作業空間として使用しないでください。装置上面の空きエリアに重量物を置くと、落下による怪我の原因となります。

## ⚠️ 金属など端面への接触

装置の移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをすおそれがあります。

## ⚠️ ⚠️ 不適切なバッテリー

不正な種類のバッテリーと交換すると爆発の危険があります。使用済みのバッテリーは指示にしたがって廃棄してください。

## ⚠️ ⚠️ ⚠️ 電池の取り扱い

電池の交換は保守員が行います。交換は行わないでください。また、次のことに注意してください。取り扱いを誤ると過熱・破裂・発火などでけがの原因となります。

- 充電しない
- ショートしない
- 分解しない

## ⚠️ ⚠️ バッテリーの保管

バッテリーを保管する際は、バッテリー端子に接着テープを貼付して絶縁してください。絶縁しないと、端子同士の接触によりショートして、過熱や破裂を引き起こすことがあり、けがや火災につながります。

## 装置の損害を防ぐための注意

### 使用する電源

使用できる電源は、交流200Vです。それ以外の電圧では使用しないでください。電圧の大きさに従って内部が破損したり過熱・劣化して、故障の原因となります。

## お問い合わせ先

### 機能に関するお問い合わせ、技術的なお問い合わせについて

インストール、セットアップなどの操作手順や設定方法に関するお問い合わせ、また本製品で発生した障害の原因切り分けおよび対策、回避策に関するお問い合わせに対して、有償のサポートサービスをご用意しています。

#### ■ サポートサービスをご利用になる場合

有償サポートサービスをご契約いただいたうえ、送付されるサービス利用ガイドを参照いただき、下記の問合せ受付窓口にお問い合わせください。

日立ソリューションサポートセンター  
フリーダイヤル：サポートサービス契約の締結後、別途ご連絡いたします。  
詳細は担当営業へお問い合わせください。  
受付時間：8:00～19:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

#### ■ サポートサービスをご利用にならない場合

販売会社でお問い合わせを承ることが可能な場合がございます。詳細内容につきましては、お買い求め先へご確認ください。

## システム装置が故障したら

#### ■ サポートサービスを契約している場合

契約時にご連絡している問合せ受付窓口へお問い合わせください。  
無償保証期間中であっても、契約時にご連絡している問合せ受付窓口へお問い合わせください。

#### ■ サポートサービスを契約していない場合

販売会社で修理を承ることが可能な場合がございます。詳細内容につきましては、お買い求め先へご確認ください。また、無償保証期間中の修理につきましては、以下の連絡先へお問い合わせください。

日立ソリューションサポートセンター  
フリーダイヤル：0120-366-056  
受付時間：平日8:00～19:00

# 7

## マニュアルおよび添付品について

### 電子マニュアルの参照方法

#### お客様にてご準備いただくもの

お客様にて次の機器をあらかじめご準備ください。

項目	員数	備考
システムコンソール	1台	システム装置のユーザインタフェースとして使用します。 次表「システムコンソールの要件」に記載の条件を満たすPCをご準備ください。
LANケーブル	1本	カテゴリ-5以上の規格に対応したLANケーブルをご準備ください。

#### <システムコンソールの要件>

項目	仕様
CPU	動作クロック2GHz以上
メモリ	512MB以上(2GB以上のメモリ搭載を推奨)
表示解像度	1024 x 768以上(1280 x 1024以上を推奨)
ネットワーク	100Base-TX以上
Flash player	Adobe® Flash® Player version 10.2以上
OS	Microsoft® Windows® Red Hat® Enterprise Linux®
ブラウザ	Internet Explorer 7以上 Firefox 3.0以上
Java software	Oracle® Java Version 6 Update 29以上 Oracle® Java Version 7 Update 2以上

#### システムコンソールの設定

システムコンソールをシステム装置に接続するためには、ネットワーク設定とブラウザ設定が必要です。

#### ネットワーク設定

システムコンソールのIPアドレスを、192.168.0.2～192.168.0.254のいずれかに設定する必要があります。お使いのネットワーク環境に合わせて、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。

なお、設定方法については、システムコンソールにインストールされているOSのマニュアルを参照してください。

#### ブラウザ設定

次のようにブラウザを設定してください。

- ポップアップブロックを無効にしてください。  
無効にしないと、予期しない動作をする場合があります。
- クッキーの使用を有効にしてください。  
有効にしないと、マネジメントモジュールのWebコンソールにログインできません。

ブラウザの設定方法については、ブラウザのマニュアルを参照してください。

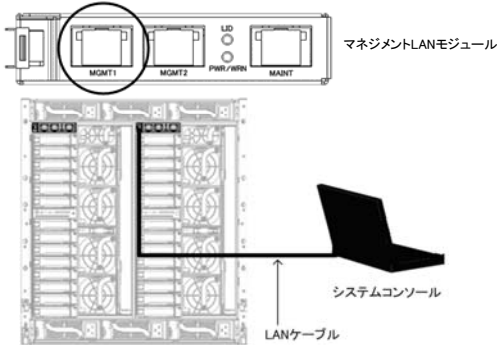
## Webコンソールの接続

システムコンソールから、マネジメントモジュールのWebコンソールに接続します。

## 電子マニュアルの参照方法

電子マニュアルは、マネジメントモジュールに格納されています。  
システム装置のユーザーズガイドを参照する場合は、次の手順に従って実施してください。

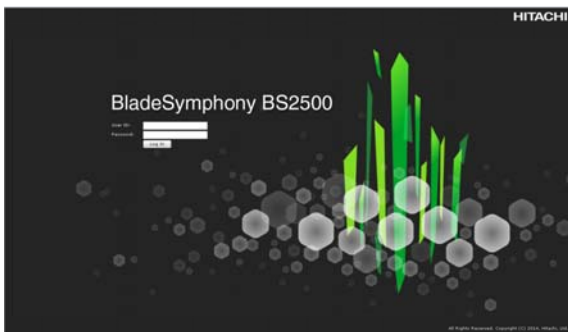
1. システム装置背面のマネジメントLANモジュールMGMT1ポートと、システムコンソールをLANケーブルで接続してください。  
MSRランプが緑色に点滅している側のマネジメントLANモジュールに接続してください。



2. システムコンソールのブラウザを開き、URL [ <https://192.168.0.1/> ] を入力します。

3. 接続に成功すると、次のログイン画面が表示されます。下表に示す値を入力してログインしてください。

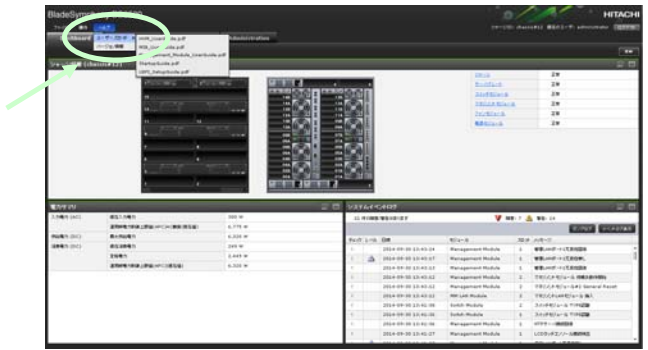
項目	工場出荷時の初期値
ユーザID	administrator
パスワード	password



4. ログインに成功すると、次の画面が表示されます。



5. Webコンソールメニューの [ ヘルプ ] - [ ユーザーズガイド ] をクリックして、参照したいユーザーズガイドを選択してください。



### 参考

- マネジメントモジュール格納ファイルの一覧は「InternalSSD\_FileList\_JP.pdf」を参照してください。
- 電子マニュアルは、予告無しに更新されることがあります。最新のマニュアルはBladeSymphonyのWebページから入手できます。  
BladeSymphonyのWebページ：  
<http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/>

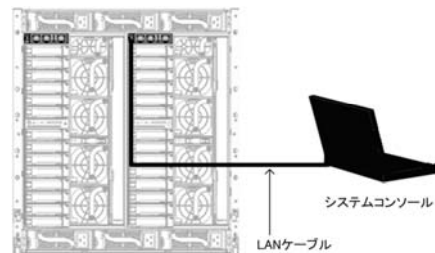
## 添付品のダウンロード方法

システム装置添付のユーティリティやドキュメントなどは、マネジメントモジュールに格納されています。次の手順に従って、マネジメントモジュールからダウンロードしてください。手順は、Windowsのシステムコンソールを使用した例を示します。Linuxのシステムコンソールを使用する場合も、同様に実施してください。

### 参考

お客様がマネジメントモジュールからデータを読み出す場合は、マネジメントモジュール内のデータをバックアップすることをお勧めします。

1. システム装置背面のマネジメントLANモジュールMGMT1ポートと、システムコンソールをLANケーブルで接続してください。  
MSRランプが緑色に点灯している側のマネジメントモジュールに接続してください。



### 重要

HVMモードの場合、HVM機能利用時の管理LANを構築してからシステムコンソールでダウンロードしてください。詳細は『スタートアップガイド』を参照してください。

2. システムコンソールでWebコンソールに接続し、ログインしてください。
3. [Resources]タブ - [Systems]のツリービューから[ファイル管理]を選択します。
4. ダウンロード対象の/usb以下のファイルをクリックし、選択します。ファイルが選択された状態で[ダウンロード]ボタンをクリックします。

/usb以下に、システム装置添付のファイルが格納されています。  
マネジメントモジュール格納ファイルの一覧を参照してください。

### 参考

マネジメントモジュール格納ファイルの一覧は、Webコンソールメニューの [ヘルプ] - [ユーザーズガイド] - 「InternalSSD\_FileList\_JP.pdf」をクリックしてください。

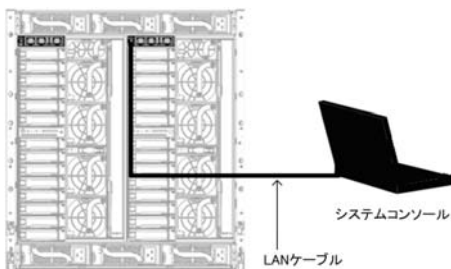
## 添付品のアップロード方法

システム装置添付のユーティリティやドキュメントなどは、マネジメントモジュールに格納されています。Webサイトより最新データを入手した場合、次の手順に従って、マネジメントモジュールへアップロードしてください。手順は、Windowsのシステムコンソールを使用した例を示します。Linuxのシステムコンソールを使用する場合も、同様に実施してください。

### 重要

- Webコンソールメニューからユーザーズガイドを表示するためには、該当するユーザーズガイドがホストマシンの以下のフォルダにある必要があります。アップロードの際にご注意ください。  
iusb/manual/
- お客様がマネジメントモジュールにデータを書き込む場合は、事前にマネジメントモジュール内のデータのバックアップをお取りください。

1. システム装置背面のマネジメントLANモジュールMGMT1ポートと、システムコンソールをLANケーブルで接続してください。  
MSRランプが緑色に点灯している側のマネジメントモジュールに接続してください。



### 重要

HVMモードの場合、HVM機能利用時の管理LANを構築してからシステムコンソールでダウンロードしてください。詳細は『スタートアップガイド』を参照してください。

2. システムコンソールでWebコンソールに接続し、ログインしてください。
3. [Resources]タブー[System]のツリービューから[ファイル管理]を選択します。
4. [アップロード]ボタンをクリックします。
5. [ファイルアップロード]ダイアログで、アップロード先ディレクトリをプルダウンから選択し、[参照]ボタンをクリックし、アップロードファイルを選択します。

/iusb以下に、システム装置添付のファイルが格納されています。マネジメントモジュール格納ファイルの一覧を参照してください。

### 参考

マネジメントモジュール格納ファイルの一覧は、Webコンソールメニューの[ヘルプ]ー[ユーザーズガイド]ー「InternalSSD\_FileList\_JP.pdf」をクリックしてください。

6. [ファイルアップロード]ダイアログで、[確認]ボタンをクリックします。



